

「多摩川エコミュージアムプランの推進」 人をつなげる森と川～二ヶ領せせらぎ館をまちの広場に～



神奈川県 川崎市
特定非営利活動法人 多摩川エコミュージアム / 川崎市

手づくり郷土賞
について

グランプリ
2017

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

多摩川は、山梨県笠取山(標高1,953m)に水源を発し、東京湾に注ぐ全長138km、流域面積1,240km²の山梨・東京・神奈川県を流れる一級河川です。首都圏を流れる河川として都市空間の一部を形成しており、上流部ではその流れと豊かな自然は人々に憩いと安らぎを与え、下流部では、広々とした河川敷は散歩やスポーツ・レクリエーション等に幅広く利用されるなど首都圏を代表する河川として

て広く愛されています。

二ヶ領せせらぎ館は、国土交通省が管理する二ヶ領宿河原堰の管理棟の一部を川崎市の「多摩川エコミュージアムプラン」の運営拠点・情報発信センターとして、川崎市と多摩川エコミュージアムが協働で管理運営する施設で、魚類、野鳥類、植物類が観察できます。



二ヶ領宿河原堰



二ヶ領せせらぎ館



二ヶ領せせらぎ館内

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

特定非営利活動法人 多摩川エコミュージアムは、多摩川の水環境・緑・歴史・文化等の資源を活用し、市民・企業・行政それぞれが持つ機能を発揮しながら地域でまちづくりを目指す「多摩川エコミュージアムプラン」を推進する市民団体として、主体的・自発的な事業展開を図っています。

二ヶ領せせらぎ館を拠点に、多摩川の環境学習をはじめとして、誰もが楽しく学び、活動するための

地域づくりを進めるため、住民、学校、企業とも連携した毎月の清掃活動、地域に定着した様々なイベントや事業の企画・運営、他団体との協力事業等に取り組んでいます。



地域住民で毎月のクリーンアップ活動



エコ★カップいかだ下り



秋の収穫祭&ミニコンサート

3 活動の成果や波及効果等

多摩川エコミュージアムの活動により、多摩川や二ヶ領用水の環境・歴史学習のため小学校30校がせせらぎ館に来館し、地域住民や企業、大学と連携した事業など、多摩川の魅力を伝えるだけでなく、地域のシンボルとして近隣に広く認識されています。

また、近年、河川防災をテーマに取り上げた多摩川シンポジウムでは、地域住民の防災に対する興味関心度が向上すると共に、学校や企業、他市他県からも実技指導を求められています。



二ヶ領用水の環境学習



多摩川シンポジウム

4 前回受賞時からの活動の発展内容

前回受賞(平成18年)時より市外さらには海外との国際交流事業まで活動規模が拡大しています。

毎月の河川敷の清掃は、シティグループ、地元企業や大学の参加も増加中。防災イベントなど新たな事業にも積極的に取り組んでいます。

また、地域住民との共催イベントを通し、5つの大学との同時活動連携もしています。

所在地

神奈川県 川崎市

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 多摩川エコミュージアム
(044-900-8386)
<http://www.seseragikan.com/index.html>

対象となる社会資本

二ヶ領せせらぎ館を中心とした多摩川
※管理者：国土交通省関東地方整備局、川崎市



喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人 多摩川エコミュージアム
代表理事 松井 隆一

コメント

多摩川の魅力を体験、伝える活動を、当初から18年、NPOになって15年、自分たちのできることを、他団体との協働・連携によって広げ深めてきました。大賞を受賞して、ますますの活躍が期待されていることに自覚を持って、臨みます。

活動内容

- ・二ヶ領せせらぎ館の管理運営
- ・毎月のクリーンアップ活動
- ・多摩川を活用したイベントの開催
- ・地域大学間との連携活動
- ・多摩川流域の市町村との連携活動 など

活動の経緯

- 平成11年 二ヶ領せせらぎ館開館
- 平成14年 NPO法人として設立
- 平成18年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞
- 平成20年 毎月のクリーンアップ活動開始
エコ★カップいかだ下り開催開始
- 平成27年 ジャカルタとの国際交流開始

手づくり郷土賞
について

グランプリ
2017

講評

大賞部門

一般部門

資料編